

設計年度	令和 2 年度	耐震性貯水槽新設工事（須波西二丁目） 三原市須波西二丁目	仕様書
施工月日	令和 年 月 日		
施工方法	請 負		
工事期間			
工 事 概 要		起 工 理 由	
耐震性貯水槽新設 耐震性貯水槽（40m3） N=1基 標識設置 N=1基			

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、耐震性貯水槽新設工事（須波西二丁目）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和元年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル（(一財) 日本消防設備安全センター）
 - ・道路標識設置基準
 - ・道路標識設置基準・同解説（(社) 日本道路協会）
 - ・その他関連規格類

第2節 水張り検査

水張り検査を行うこと。

なお、異常を確認した場合は、受注者は原因を確認し、調査計画書を監督員に提出し補修すること。

第3節 検査

土木工事共通仕様書（令和元年8月広島版）『第3編 1-1-10 検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第4節 情報共有システム（設計金額500万円以上が対象）

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 材料

第1節 耐震性貯水槽

設置する貯水槽は、(一財)日本消防設備安全センターが認定する製品を使用すること。

本工事において、事前に使用する耐震性貯水槽の構造計算書を監督員に提出し承諾を得ること。

本工事完了後、設置した耐震性貯水槽に対する認定証((一財)日本消防設備安全センター)の原本を速やかに監督員に提出すること。

第3章 施工条件

第1節 工 程

地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目 地下埋設物

調査時期 工事施工前に試掘を行うこと。(支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第2節 用 地

1 現場の復旧 原形復旧とする。

2 借地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。

調査時期 施工前・施工中・施工後(1ヶ月以内)

調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況

範 囲 別途協議による。

第4節 安全対策

1 安全対策

内容

工事区域，特に掘削時の開口部に第三者が立ち入ることがないように，十分に安全措置を講ずること。

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路

特に指定なし。

使用期間

工事施工期間

使用時間

8時30分～17時

工事中・後の処置

随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所

指定しない

期間

指定しない

保管方法 指定しない

第4章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和元年8月広島版）『第1編 1-1-30 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第5章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第6章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|-------------|---|
| （1）原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| （2）補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| （3）応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| （4）補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

第7章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
耐震性貯水槽		式	1	レベル1
耐震性貯水槽土工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
残土処理工		式	1	レベル3
耐震性貯水槽据付工		式	1	レベル2
本体据付工		式	1	レベル3
底版工		式	1	レベル4
側版工		式	1	レベル4
頂版工		式	1	レベル4
人孔・ピット工		式	1	レベル4
現地塗装工		式	1	レベル3
内面塗装工		m2	21	レベル4
外面塗装工		m2	9	レベル4
工場製作工		式	1	レベル2
耐震性貯水槽製作工		式	1	レベル3
耐震性貯水槽製作加工		式	1	レベル4
標識工		式	1	レベル2

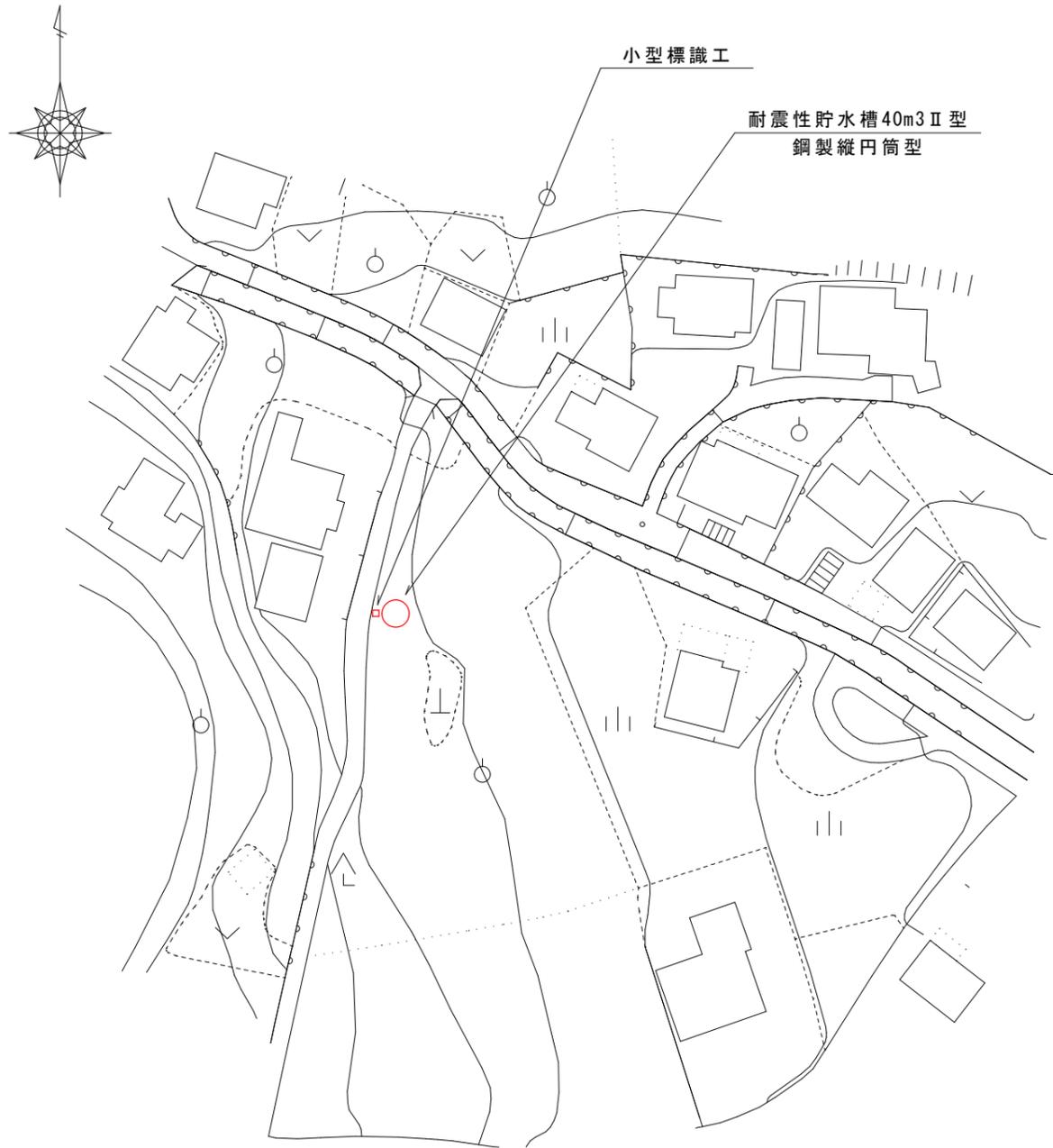
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
小型標識工				
標識柱		式	1	レベル3
標識板		基	1	レベル4
仮設工		枚	1	レベル4
工所用道路工		式	1	レベル2
		式	1	レベル3
直接工事費(鋼橋製作工)				
間接労務費(鋼橋製作工)				
工場管理費(鋼橋製作工)				
間接工事費(鋼橋製作工)				
工場製作原価(鋼橋製作工)				
直接工事費(工場製作を除く)				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
貯水槽運搬費		式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3

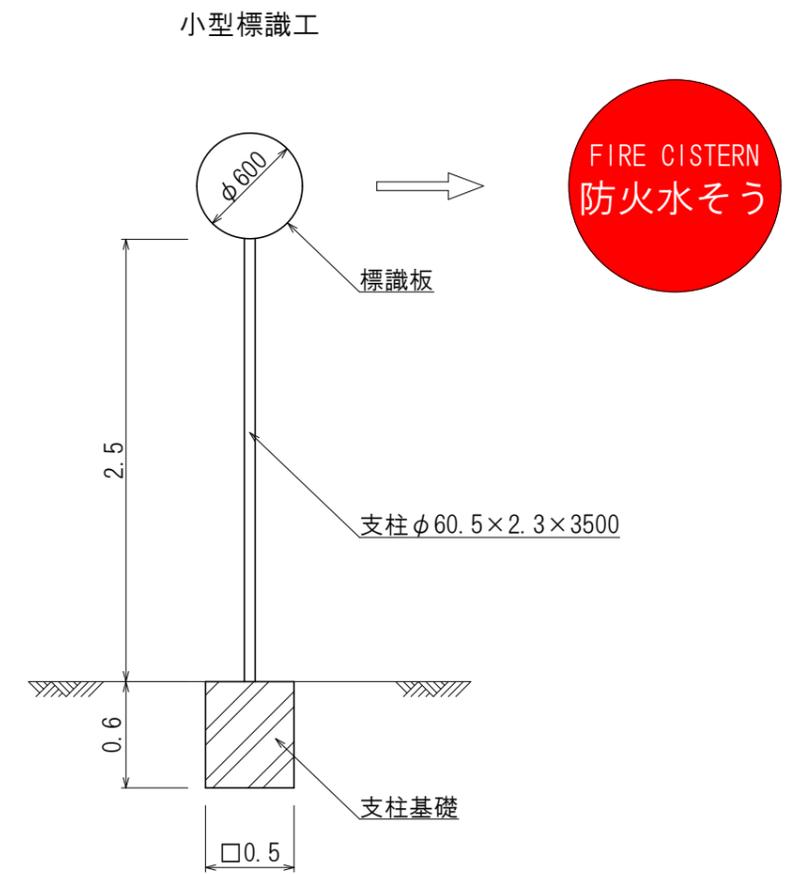
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
簡易支持力測定		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
** 架設工事原価 **					
** 工事原価 **					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

平面図 S=1:500



構造図 S=1:20



耐震性貯水槽仕様

- 〔貯水槽形式〕 耐震性貯水槽 40m3 (一財)日本消防設備センター認定品
- 〔吸管投入口形式〕 φ600
- 〔標識板形式〕 φ600 アルミ板
- 〔標識柱形式〕 φ60.5×2.3×3500
- 〔土被り〕 1m以下

図面番号	1/1	縮尺	図示
工種			
種別	各種	番号	
工事名	耐震性貯水槽新設工事(須波西二丁目)		
工事箇所	三原市須波西二丁目		
三原市			

この図面は、実際の図面を約50%に縮尺している。

— 参考資料 —

耐震性貯水槽新設工事(須波西二丁目)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-02.06.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
耐震性貯水槽					Y1E01 レベル1
	1	式			
耐震性貯水槽土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010101 レベル3
	1	式			
表土掘削					Y1E01010101 レベル4
	40	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK19040001 00
	40	m3			単第0 -0001 表
沈下掘削					Y1E01010101 レベル4
	40	m3			
掘削 土砂 水中掘削					SPK19040001 00
	30	m3			単第0 -0002 表
掘削 土砂 現場制約あり					SPK19040001 00
	10	m3			単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し					Y1E01070103レベル4
	30	m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK19040019 00
	30	m3			単第0 -0004 表
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
残土等処分					Y1E01011003レベル4
	60	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)					SPK19040002 00
	60	m3			単第0 -0005 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
残土受入費					W0001
	60	m3			
耐震性貯水槽据付工					Y1E0106 レベル2
	1	式			
本体据付工					Y1E010602 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
底版工	1	式			Y1E01060201 レベル4
底版工	1	式			V0001 00 単第0 -0006 表
側版工	1	式			Y1E01060202 レベル4
側版工	1	式			V0010 00 単第0 -0011 表
頂版工	1	式			Y1E01060203 レベル4
頂版工	1	式			V0020 00 単第0 -0014 表
人孔・ピット工	1	式			Y1E01060204 レベル4
人孔工及びピット工	1	式			V0030 00 単第0 -0017 表
現地塗装工	1	式			Y1E010603 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
内面塗装工					Y1E01060301 レベル4
	21	m2			
内面塗装工					V0050 00
	21	m2			単第0 -0019 表
外面塗装工					Y1E01060302 レベル4
	9	m2			
外面塗装工					V0051 00
	9	m2			単第0 -0020 表
工場製作工					Y1E0301 レベル2
	1	式			
耐震性貯水槽製作工					Y1E030101 レベル3
	1	式			
耐震性貯水槽製作加工					Y1E03010101 レベル4
	1	式			
【工場製作に含まれる材料費等】					#0045
耐震性貯水槽製品費 4300×H3740 SUS梯子付					F0000000001 00
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識工					Y1G0106 レベル2
小型標識工	1	式			Y1G010601 レベル3
標識柱	1	式			Y1G01060101 レベル4
標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 静電粉体塗装(白色) 柱径 60.5 [規]2基以下	1	基			SS000067 00 単第0 -0021 表
標識板	1	枚			Y1G01060102 レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	基			SS000223 00 単第0 -0022 表
仮設工	1	式			Y1E0114 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1E011401 レベル3
支保工	1	式			Y1E01140101 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
パイプサポート支保(小規模) 支保耐力 40kN/m2以下 総設置数量40空m3以下	24	空m3			S1050025 00 単第0 -0023 表
** 直接工事費 (鋼橋製作工) ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
間接労務費 (鋼橋製作工) 計算情報..... 率.....					
工場管理費 (鋼橋製作工) 計算情報..... 率.....					
** 間接工事費 (鋼橋製作工) **					
** 工場製作原価 (鋼橋製作工) **					
** 直接工事費(工場製作を除く) ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
貯水槽運搬費	1	式			YZZ04001004 レベル4
輸送費	1	式			W0001
技術管理費	1	式			Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
簡易支持力測定	1	式			YZZ06001002 レベル4
簡易支持力測定 報告書作成含む	1	式			W0001
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....		率補正率.....			
** 架設工事原価 **					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

施工単価表

掘削

SPK19040001

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

機械構成比: 31.50% 労務構成比:

標準

57.43%

材料構成比: 11.07%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
1,072.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	31.50%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	57.43%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.07%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 F=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

掘削
土砂 水中掘削

SPK19040001

単第0 -0002 表

1

m3 当り

機械構成比: 59.59% 労務構成比: 25.13%

材料構成比: 15.28%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

349.18000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ドラグライン及びクラムシェル 油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m3	59.59%		ドラグライン及びクラムシェル 油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m3		MTPC00065 MTPT00065
運転手(特殊)	25.13%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.28%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 水中掘削		

施工単価表

頁0 -0014

埋戻し
土砂

SPK19040019

単第0 -0004 表

機械構成比: 11.23% 労務構成比:

上記以外(小規模)

84.85% 材料構成比: 3.92%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
3,337.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	10.54%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンバ及びランマ タンバ及びランマ 質量60~80kg	0.69%		タンバ及びランマ タンバ及びランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.29%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.63%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) 全ての費用		B=1 土砂		

施工単価表

土砂等運搬

SPK19040002

単第0 -0005 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 27.16% 労務構成比:

60.81% 材料構成比: 12.03%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,486.60000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	27.16%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	60.81%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=40 距離10.0km以下(7.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

基礎砕石

SPK19040039

単第0 -0007 表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 4.14% 労務構成比:

66.93%

材料構成比: 28.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,086.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.12%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	34.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.16%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	7.85%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	26.51%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.41%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0020

コンクリート

SPK19040150

単第0 -0008 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.78%

労務構成比:

37.76%

材料構成比:

57.46%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

26,831.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.51%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.24%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.76%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.46%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

人孔工及びピット工

V0030

単第0 -0017 表

頁0 -0030

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.2	m3			単第0-0008 表
人孔鉄蓋 受枠共 鋳鉄 T-25	1	組			
蓋(受枠とも)及び調整Coブロック据付工	1	組			単第0-0018 表
シーリング工 硬質シリコン樹脂系	2	m			
普通作業員	1.0	人			
溶接工	0.1	人			
<賃>溶接機械(エンジンウェルダ) 270A	1.0	日			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

内面塗装工

V0050

単第0 -0019 表

頁0 -0032

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう塗装工	1.3	人			
雑材料	7	%			#01
橋りょう塗装工	3.8	人			
塗料 変性珪酸系 グレー	75	kg			
雑材料	3	%			#02
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

施工単価表

外面塗装工

V0051

単第0 -0020 表

頁0 -0033

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう塗装工	1.3	人			
雑材料	7	%			#01
橋りょう塗装工	3.8	人			
塗料 変性珪酸系 グレー	75	kg			
雑材料	3	%			#02
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

設計数量総括内訳書

工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4	積算要素	規格	単位	数量	摘要
耐震性貯水槽土工							
	作業土工						
		表土掘削			m ³	40	
			機械掘削		m ³	40	
		沈下掘削			m ³	40	
			機械掘削		m ³	30	
			人力掘削		m ³	10	
		埋戻し			m ³	30	
			埋戻し		m ³	30	
		残土処理工			m ³	60	
			土砂等運搬		m ³	60	
			残土受入費		m ³	60	
耐震性貯水槽据付工							
	本体据付工						
		底版工			式	1	
			基礎碎石	RC-40 t=20cm	m ²	13	
			コンクリート	無筋構造物	m ³	6	
			溶接		m	11	
		側版工			式	1	
			溶接		m	132	
		頂版工			式	1	
			コンクリート	無筋構造物	m ³	4	
			溶接		m	18	
			シーリング		m	16	
		人孔及びピット工			式	1	
			コンクリート	無筋構造物	m ³	0.2	
			人孔鉄蓋	受枠共 鑄鉄 T-25	組	1	
			シーリング		m	2	

土工数量計算書

<p>1. 表土掘削 $((5.0 / 2)(5.0 / 2)\pi + (6.5 / 2)(6.5 / 2)\pi / 2) \times 1.5$</p>	<p>39.61 m³</p>
<p>2. 沈下掘削 イ) 機械掘削 $((4.3 / 2) - 0.3)((4.3 / 2) - 0.3) \times \pi \times 2.94$ ロ) 人力掘削 $((4.3 / 2)(4.3 / 2)\pi \times 2.94 - 31.61$</p>	<p>31.61 m³ 11.08 m³</p>
<p>3. 埋戻し ・上部セグメント $(4.2 / 2)(4.2 / 2)\pi \times 0.70$ ・上床版 $(4.14 / 2)(4.14 / 2)\pi \times 0.30$ ・マンホール $(0.90 / 2)(0.90 / 2)\pi \times 0.5 \times 1$ $39.61 - (9.70 + 4.04 + 0.32)$</p>	<p>9.7 m³ 4.04 m³ 0.32 m³ 25.55 m³</p>
<p>4. 残土処分 (イ)埋戻し発生土使用の場合 $39.61 + 31.61 + 11.08 - 25.55$</p>	<p>56.75 m³</p>
<p>5. 転圧(t=30cm/層)</p>	<p>25.55 m³</p>

基礎砕石・コンクリート及びモルタル使用量 計算書

1) 基礎砕石 $(4.1 / 2)(4.1 / 2) \times \pi \times 0.2 - (0.8 / 2)(0.8 / 2) \times 1 \pi \times 0.2$	2.54 m ³
2) 第1回コンクリート (底版) $(4.3 / 2)(4.3 / 2) \times \pi \times 0.12 - (0.8 / 2)(0.8 / 2) \times 1 \pi \times 0.12$	1.68 m ³
3) 第2回コンクリート (底版) $(4.3 / 2)(4.3 / 2) \times \pi \times 0.31 - (0.66 / 2)(0.66 / 2) \times 1 \pi \times 0.31$	4.40 m ³
4) 第3回コンクリート (頂版) $(4.10 / 2)(4.10 / 2) \times \pi \times 0.293 - (0.66 / 2)(0.66 / 2) \times 1 \pi \times 0.293$	3.78 m ³
5) 第4回コンクリート (マンホール) 1穴当り $(0.90 / 2)(0.90 / 2) \times \pi \times 0.5 - (0.66 / 2)(0.66 / 2) \times 1 \pi \times 0.5$	0.15 m ³

現地溶接の図面溶接長

《A》

1) 下向水平隅肉

1. 本体関係	(イ)上・下部セグメント	接合円周部(外)	$4.2 \times \pi$	=	13.2 m
	(ロ)	" (内)	$4.2 \times \pi$	=	13.2 m
	(ハ)	縦リブ	$0.1 \times 2 \times 12$ ヶ所	=	2.4 m
	(ニ)	縦手板	$0.18 \times 2 \times 4$ ヶ所	=	1.4 m

2. 下床版関係(イ)外 周			$3.8 \times \pi$	=	11.9 m
	(ロ)中 心		3.8×1	=	3.8 m
	(ハ)塞ぎ板	($0.05 + 0.075$)	$\times 2$	= 0.3 m

3. 上床版関係(イ)外 周			$4.17 \times \pi$	=	13.1 m
	(ロ)ボルト		$1.5 \text{ cm} \times 6 \times 18$	=	$162 \text{ cm} = 1.6 \text{ m}$

4. 集水ピット上蓋			$0.647 \times \pi$	=	2.0 m
------------	--	--	--------------------	---	-------

2) 下 向

1. 本体関係	(イ)上部セグメント	頂版接合部	0.18×4	=	0.7 m
	(ロ)下部セグメント	"	0.24×4	=	1.0 m
	(ハ)下部セグメント	リブ接合部	0.04×4	=	0.2 m

2. 上床版	中心線		$4110 \text{ mm} - 3.2 \text{ mm} \times 2$	=	$4104 \text{ mm} = 4.1 \text{ m}$
--------	-----	--	---	---	-----------------------------------

3) 立 向

1. 本体関係	(イ)セグメント	接合線 (外)	$(2.64 + 0.8) \times 4$	=	13.8 m
	(ロ)	" (内)	$(2.64 + 0.8) \times 4$	=	13.8 m
	(ハ)電気陽極棒		$(5 \text{ cm} + 5 \text{ cm} + 1 \text{ cm}) \times 2$	=	$132 \text{ cm} = 1.3 \text{ m}$

3. 上床版コーキング			$(30 \text{ cm} + 6 \text{ cm}) \times 2$	=	$72 \text{ cm} = 0.7 \text{ m}$
-------------	--	--	---	---	---------------------------------

4) 上 向

1. 本体関係	(イ)下部セグメント	底部横リブ接合部	0.1×4.0	=	0.4 m
---------	------------	----------	------------------	---	-------

現地溶接の換算溶接長

2/3

《B》

		〔図面溶接長〕	〔換算値〕	〔換算溶接長〕
1) 下向水平隅肉				
1. 本体関係	(イ)上・下部セグメント 接合円周部(外)	13.2	0.88	11.6
	(ロ) " " (内)	13.2	0.88	11.6
	(ハ) " 縦リブ	2.4	0.88	2.1
	(ニ) " 縦手板	1.4	1.28	1.8
2. 下床版関係	(イ)外 周	11.9	0.64	7.6
	(ロ)中 心	3.8	0.96	3.6
	(ニ)塞ぎ板	0.3	0.64	0.2
3. 上床版関係	(イ)外 周	13.1	0.64	8.4
	(ロ)ボルト	1.6	0.64	1.0
4. 集水ピット上蓋		2.0	0.64	1.3
2) 下 向				
1. 本体関係	(イ)上部セグメント 頂版接合部	0.7	1.6	1.1
	(ロ)下部セグメント "	1.0	1.6	1.6
	(ハ)下部セグメント リブ接合部	0.2	1.6	0.3
2. 上床版	中心線	4.1	1.6	6.6
3) 立 向				
1. 本体関係	(イ)セグメント 接合線 (外)	13.8	4.8	66.2
	(ロ) " " (内)	13.8	2.4	33.1
	(ハ)電気陽極棒	1.3	1.28	1.7
3. 上床版コーキング		0.7	2.4	1.7
4) 上 向				
1. 本体関係	(イ)下部セグメント 底部横リブ接合部	0.4	3.2	1.3

現地溶接の集計溶接長

3/3

《C》

1) 図面指示溶接長

	水平隅肉	下 向	立 向	上 向	計
本 体	30.2	1.9	28.9	0.4	61.4
下床版	16.0				16.0
上床版	14.7	4.1	0.7		19.5
集水ピット	2.0				2.0
計	62.9	6.0	29.6	0.4	98.9

2) 換算溶接長

	水平隅肉	下 向	立 向	上 向	計
本 体	27.1	3.0	101.0	1.3	132.4
下床版	11.4				11.4
上床版	9.4	6.6	1.7		17.7
集水ピット	1.3				1.3
計	49.2	9.6	102.7	1.3	162.8

現地塗装面積計算書

1). 内面補修塗装(ノントールエポキシ樹脂系)

1. セグメント高さ	(イ) 継手溶接部	$3.440 \times$	4	$=$	13.8 m
	(ロ) 外板溶接部裏面高さ	$3.44 \times$	2×4	$=$	27.5 m
2. 上・下部セグメント接合円周音	(イ) 溶接線部	$4.20 \times \pi$		$=$	13.2 m
	(ロ) 下部セグメント頂版裏面	$4.20 \times \pi$		$=$	13.2 m
3. 上床版関係	(イ) 上部セグメント頂版裏面	$4.17 \times \pi$		$=$	13.1 m
	(ロ) 中央センター部	$4.17 - 0.205 \times 2$	$=$		3.8 m
	(ハ) 内部円周部	$3.8 \times \pi$		$=$	11.9 m
4. 縦リブ関係	(イ) 溶接部	$0.1 \times$	2×12	$=$	2.4 m
	(ロ) 下部セグメント頂版裏面	$0.1 \times$	2×12	$=$	2.4 m
5. 継手板関係	(イ) 溶接部	$0.18 \times$	2×4	$=$	1.4 m
	(ロ) 下部セグメント頂版裏面	$0.18 \times$	2×4	$=$	1.4 m
<u>小計)</u>					<u>104.1 m</u>

依って内面補修面積は、
 $104.1 \times 0.2 = 20.8 \text{ m}^2$
(片側 10cm巾)

6. 電気防食陽極棒 溶接部
 $0.04 \times 2 \times 6 = 0.5 \text{ m}^2$
(20cm角)

内面合計	21.3 m^2
------	--------------------

2). 外面補修塗装(タールエポキシ樹脂系)

$$1. \text{セグメント高さ} \quad (2.64 + 1) \times 4 \text{ヶ所} = 13.8 \text{ m}$$

$$2. \text{上・下部セグメント接合円周部} \quad 4.20 \times \pi = 13.2 \text{ m}$$

$$3. \text{上床版関係} \quad (\text{イ}) \text{ 溶接線部} \quad 4.2 \times \pi = 13.1 \text{ m}$$

$$(\text{ロ}) \text{ 外枠溶接部} \quad 0.30 \times 2 = 0.6 \text{ m}$$

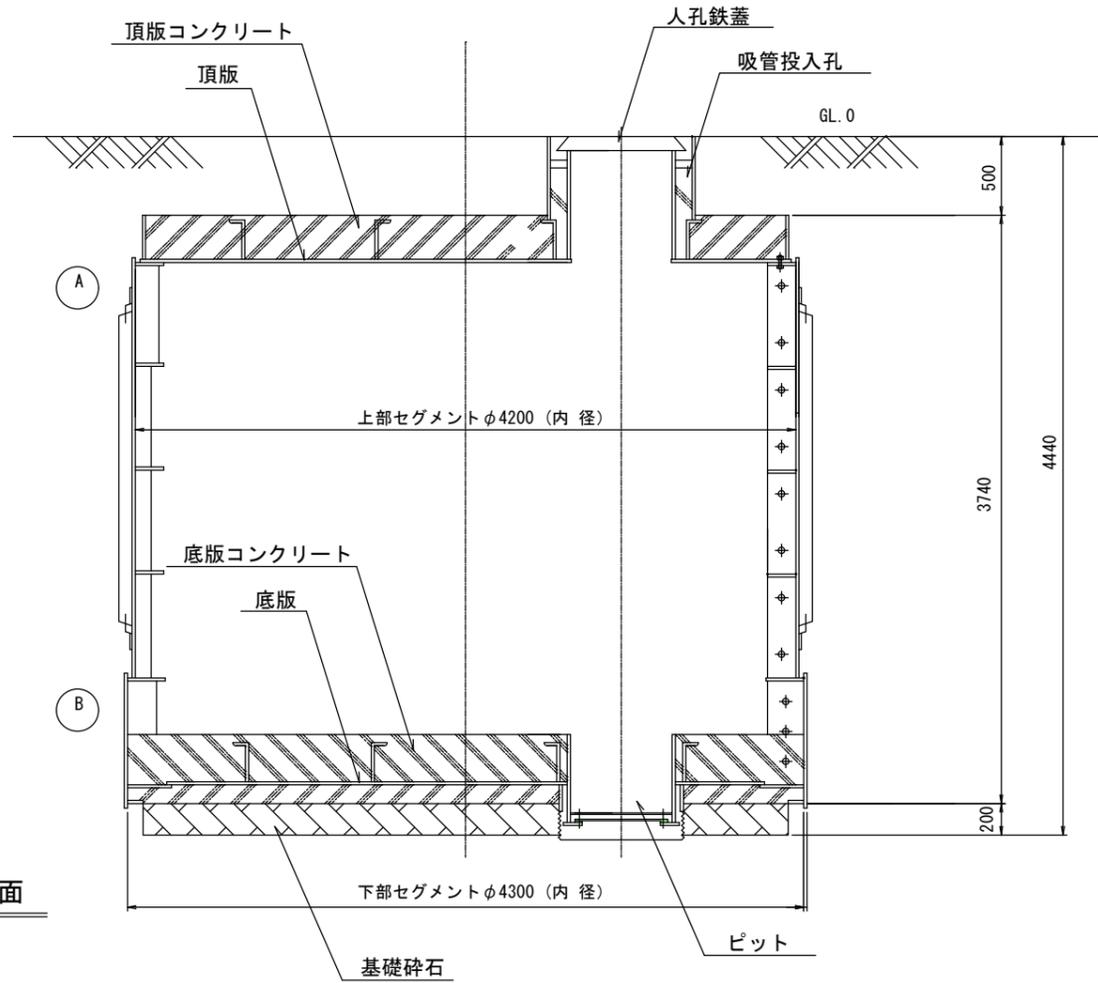
$$\text{小計)} \quad \underline{40.7 \text{ m}}$$

$$\text{依って外面補修面積は、} \quad 40.7 \times 0.2 = 8.1 \text{ m}^2$$

$$4. \text{電気防食陽極棒} \quad \text{溶接部} \quad 0 \times 2 \times 6 = 0.5 \text{ m}^2$$

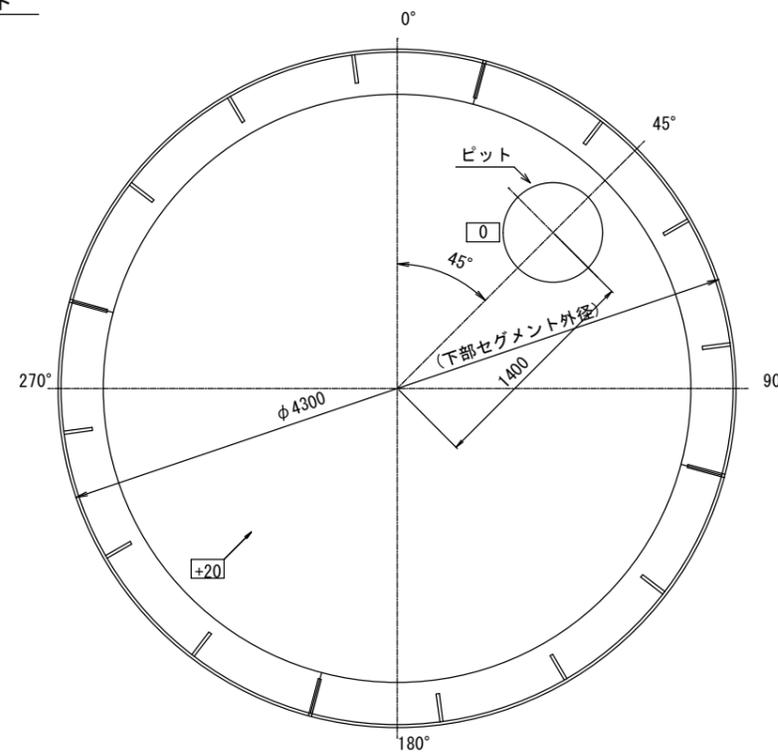
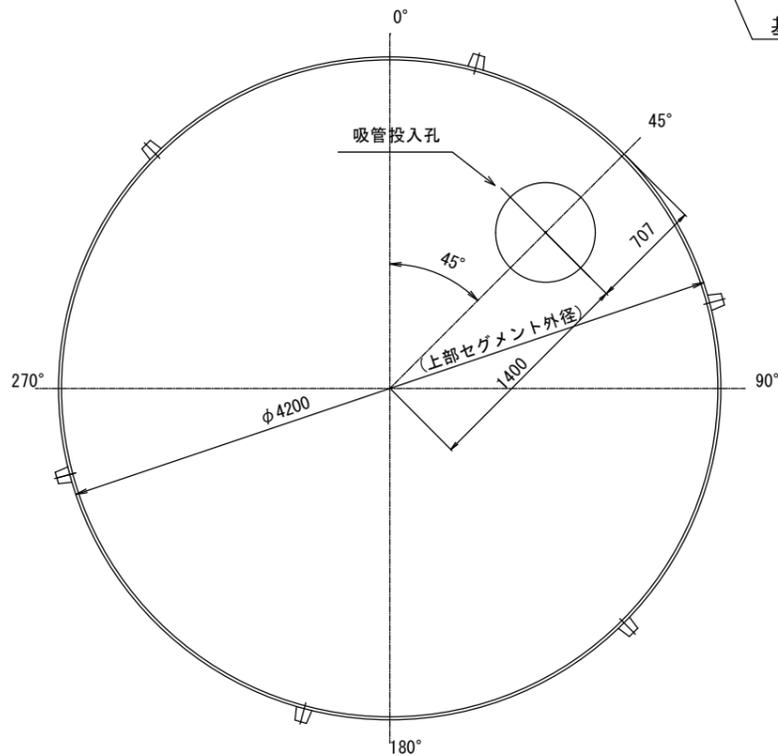
外面合計	8.6 m ²
------	--------------------

断面図 S=1/30



A 断面

B 断面



容 積 表		
項 目	サイズ (内径 x 高さ)	容積 (m ³)
上部セグメント	φ4200 x 2640	36.57
下部セグメント	φ4300 x 360	5.23
内 部 部 材		△ 0.23
容積総合計		41.57m ³

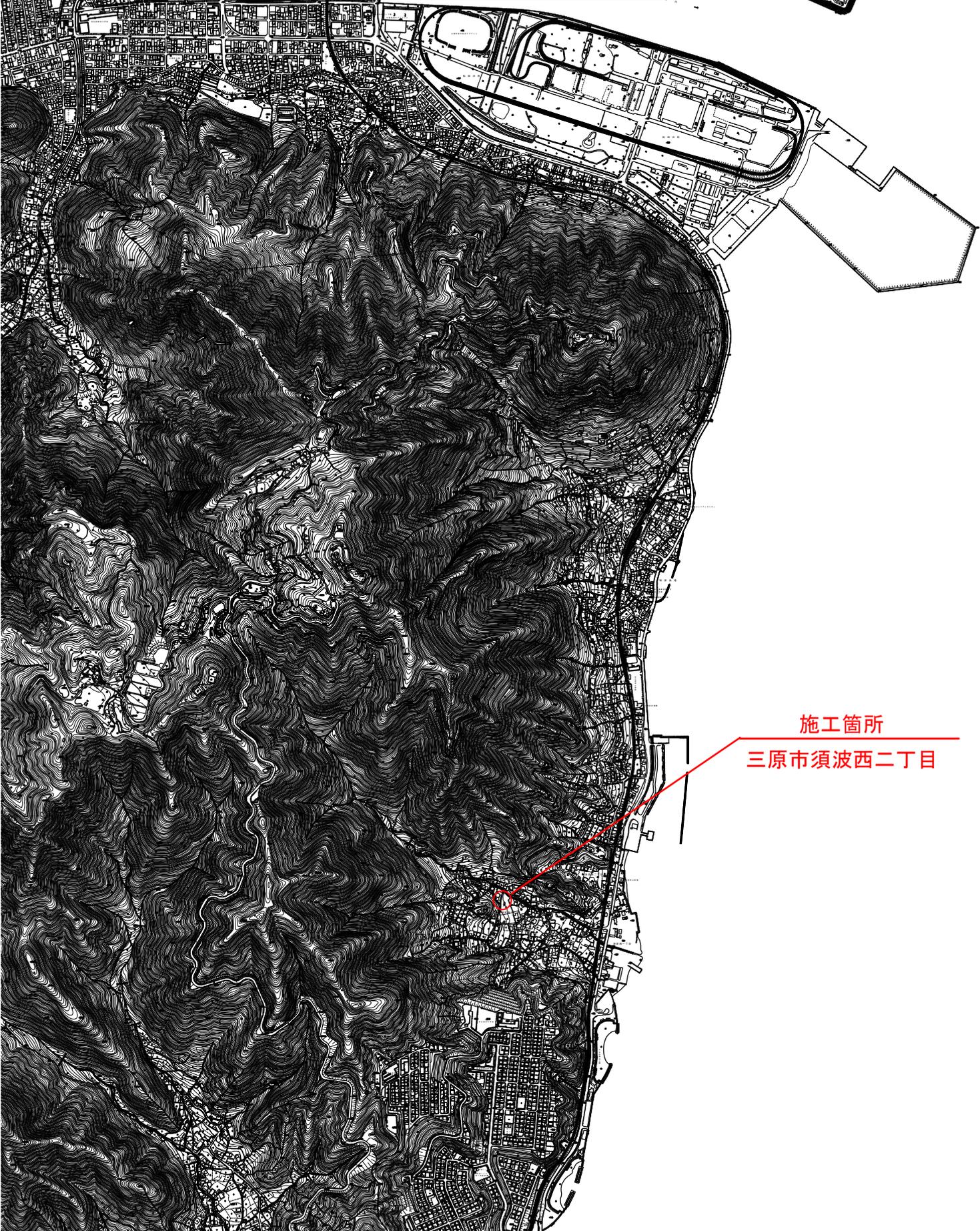
仕 上 表		
名 称	材 質	厚
内 部 塗 装	ハイソリッド変性エポキシ樹脂系 (ライトグレー)	250 μ
外 部 塗 装	ハイソリッド変性エポキシ樹脂系 (ライトグレー)	250 μ
内部取合部	シーリング (硬質シリコン樹脂系)	

名 称	材質	数量	備 考
シーリング		17.9 m	硬質シリコン樹脂系
人孔鉄蓋T-25	鋼鉄	1	
ドライモルタル		0.03 m ²	ピット
コンクリート	N/mm ² 18以上	0.15 m ²	吸管投入孔
		3.78 m ²	頂 版
		4.40 m ²	底 版
コンクリート	N/mm ² 18以上	1.68 m ²	底 版
基礎砕石		2.54 m ²	
電気防蝕用マグネシウム 陽極棒		6	
M20 座金		102	
M20x50 ボルト・袋ナット		44組	垂鉛メッキ
M20x45 ボルト・袋ナット		18組	垂鉛メッキ
ピット用 パッキン	天然ゴム	1	
ピット用 塞ぎ板	SS400	1	上 蓋
ピット用 塞ぎ板		1	下 蓋
砕石止め		1	
底版用 塞ぎ板		1	
裏当材 フラットバー		1	
底 版		1	
底 版 (ピット付)		1	
頂 版		1	
頂 版 (吸管投入孔付)		1	
下部セグメント		4	
上部セグメント	SS400	4	
梯 子	SUS304	1	

図面番号	縮 尺	図 示
工 種		
種 別	参 考 図	番 号
工 事 名	耐震性貯水槽新設工事 (須波西二丁目)	
工事箇所	三原市須波西二丁目	
三 原 市		

この図面は、実際の図面を約50%に縮尺している。

位置図



施工箇所
三原市須波西二丁目